

「目指す病院の姿」

今回は、当院の目指す病院と具体的対応方針についてお話します。

当院の目標として、中和医療圏で地域医療支援病院を目指すことが挙げられます。地域医療支援病院とは、都道府県知事によって承認されるもので、二次医療圏あたり一つ以上存在することが望ましいとされています。現在は、中和医療圏には、該当病院がない状態です。

具体的な対応方針については、二つの事に取り組んでいます。

一つ目は、断らない病院への取り組みです。令和3年は、初めて年間救急車受け入れ件数が2000件を超えましたが、昨年は2500件を目標とし、将来的には3000件を目指しています。

また、地域の医療機関からの紹介を断らないようにしています。当院は、長年の医師不足、特に内科医師不足のため、地域の期待や役割を果たせない状態が続いていました。昨年4月より、奈良県立医科大学の支援により、消化器内科医師が4名、7月より腎臓内科医師が2名の配置となりました。今年4月より、循環器内科医師の増員に伴い、心臓カテーテル検査および治療に向けた体制整備を行います。このように、内科の先生の増員に伴って、外科系の手術件数も飛躍的に増加しています。手術に重要な役割を持つ麻酔科医師も2名の増員となりました。

二つ目は、面倒見のいい病院への取り組みです。地域の医療機関との連携強化を図るために、2人主治医制を推進し、昨年1月より、開放病棟（整形外科）を3床設置しています。医療従事者の資質の向上に取り組むために、毎月1回、地域の医療従事者を交え研修会も実施しています。

このように、徐々に当院が目指す地域の中核病院としての整備を行い、地域の後方支援が可能な体制が整いつつあります。

今後とも、市民の皆さんのご支援をお願いします。

院長 榊田 義英